

排水設備計画申請図面記入例

設備場所	阿見町 中央 1 - 1 - 1
使用者	氏名 阿見 太郎 電話番号 ()
排水番号	水栓番号

平面図

① 縮尺

②

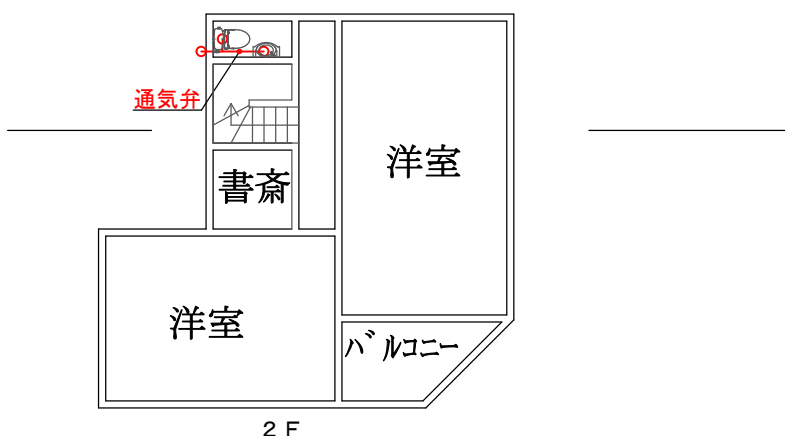
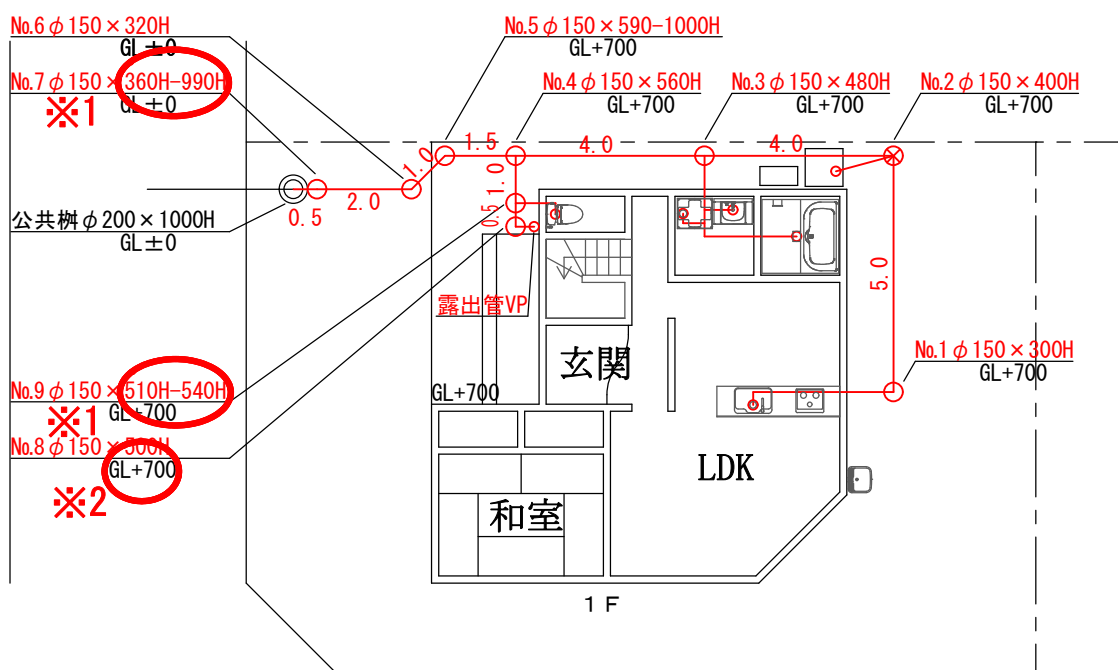
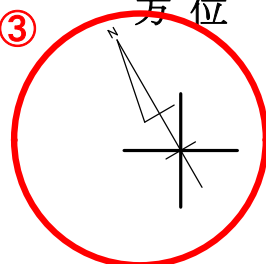
1 : (150)

排水管

管種 (VU) 口径 (ϕ 100) 勾配 (2.0~2.3%)

③

方位



※上記図面については別添としても可

①平面図

- 敷地全体を記載
- 敷地全体の図面の縮尺が1/250を超えるようであれば、縮尺1/250以下の詳細図を添付
- 桝No、桝口径、桝深、菅延長を記載
 - ※1 ドロップ桝、段差付き桝については入りと出の深さを記載
 - ※2 公共桝天端高との高低差を記載
- 管の延長が管口径の120倍を超えていないか（φ100mmは12.0m）
- 土被りが20cm以上あるか
- 勾配が規定内であるか

管径	勾 配
100	2.0/100～10.0/100
125	1.7/100～ 8.0/100
150	1.5/100～ 6.5/100
200	1.2/100～ 4.5/100

※農業集落排水は1.0/100以上

- 露出管は管種を記載（VUで配管する場合は要誓約書）
- 枝菅情報は省略可（記載する場合は規定どおりか確認）

枝 管 の 種 別	枝管の内径
小便器、手洗器又は洗面器への接続管	50mm以上
浴そう（家庭用）又は台所への接続管	75mm以上
大便器への接続管	100mm以上

- 通気管、通気弁の設置は適切か
- 桝の設置は適切か
 - 起点、会合点、管延長が管口径の120倍を超えない箇所、管種口径勾配の変更点に設置
 - 無駄な桝がないか
 - 桝の内径は規定内か

内径	深さ
15～30	80以下
35(36)	90以下
40	100以下
45	120以下
50	140以下
60	150以下
70	160以下

φ100掃除口は使用不可

- 既設管（浄化槽等で使用していた管。枝管は含まない。）使用の有無を確認
 - インバート桝のみ使用可。溜め桝は使用不可
 - 既設管を使用する場合は要誓約書
- トラップは適切か
 - ノートラップ、ダブルトラップにならないように
 - トラップ桝は⊗と記載
- 排水ヘッダー、ポンプアップ槽の有無を確認
 - 設置する場合は要誓約書
- 屋外水栓の放流する場合
 - 排水口の上部に軒の出45cm以上の下屋（1階の屋根）があること
 - φ300以上の泥溜桝の設置
- 線種、線色は適切か

線色・線種	記 入 例	種 別
黒 ・実線	—————	官民境界・家屋・公設管
黒 ・一点鎖線	— — — — —	民民境界
黒 ・破線	-----	既設管
赤 ・実線	—————	新設・増設給水管
赤 ・破線	-----	撤去・埋め殺し管

②縮尺、管種、口径、排水管の勾配を記載

③方位（北が上）